

田代高校静岡に実習旅行

報徳精神で 貧困から立ち上がる

藤の莢 青く吹かれて あるときに
遠せせらぎの まじる音する
へら羊歯の 隙なき樹幹 すゝみ
森にある音 限りあらせぬ
下り立ちて 踏む川床に すべるなど
ふり返りつゝ 友は戎む
酷薄を のがれ来りしごとくなる
影ともわれは 瀬の水を踏む

初夏の襟髪さむし花瀬川
瀬のせせらぎを霧走るなり

花瀨遊吟
……やゝ古風に：

「私は達は良い日本人にな
りましよう」と四月十日に
部落児童会で決め、先づ心
身共に健康でありますよう
と、神仏におちかいとお祈
りを致すことを決め、五月
五日の日に朝九時に集合
強く正しく明るく育ち行く

若宮神社並に明昭寺にお参
りしました。途中二列從隊
日章旗を先頭に「セイカラ
ヘ」の歌をうたいながらの
行進をしました。田代の子
供が皆良く手をつないで

川岸の島津の殿の碑の聖域めき
ておほふ程むら
ひらつたき 川床うすく行く水の
聞ばせせらぐ 目をつむるとき
去る五月十五日田代町教職員研修会の講師として来
町され、花瀬を見学された時の作であります。当日雨
で花瀬川一ぱいに水が流れておりました。

大は並大してなかつたと
思います。今でこそ架線は
かかつて便利ですが、その
時は肥料もミカンもすべ
て肩一つに頼つていたわけ
です。土賣は赤褐色の礫質
壟土で排水は非常に良いも
のと思われます。土と母岩
を静岡より持つて來てい
ますので興味のある方は來
校して見て下さい。

杉山部落は明治初年までは
杉山か、あの貧乏の、とま
で言われた貧村であつたが
片平信明という人が明治

活九年十二月二四日に信明
翁が髪結ひを一回節約した
というので九厘を善積金と
がある。例へば善種金は明
治九年十二月二四日に信明
翁が髪結ひを一回節約した
して積立たったのが、爾来八
六年今日では一八四七万円
の巨額に達し組合員の經營
改善資金に使われて居る。
宿泊して良く聞くことばに
山に行つている人は金は出
来て金はいらず、町に出る
人は金を使って金は出来ず
遠きを計る者は興り、近き
を計る者は亡ぶ。又三惚れ

立派な日本人になりますと、若宮神社にお参りする
柴立子供会のお友達です。
様、私共親はもちろん部落健全なる子供であれかし
PTAでも一生懸命勉強中とその日の写真一葉をそへ
です。て……西秀徳

東映スコープ。 No. 54

たび じ
い な る 旅 路

児心も尋常でなく愛媛和光の生産地に対する警戒心があります。しかし、山道を疾駆する車の轔音は実に勤労意を盛り上げるリズミカルなもので、山で良く聞く車による。この言葉にも丹精なさるといううえに、カナン生産に対する真剣さはあります。ミカンの生産地に対する警戒心があります。

かいせつ 国劇版根岸士と
その一家の、三十年にわたる
生活の歴史を感動的に描
く超大作「大いなる旅路」
(製作、大川博)は、新藤
兼人のオリジナルシナリオを
鬼才関川秀雄監督が、

公民館映写機
七月巡回映画で
大公開！

公民館の巡回映画も町民の皆さんの念願でありました。シネスコ（シネマ・コード）に交り、映画館同様の画面となりました。

これを機会に今月早速左記により、町民の皆様にお目にかける事になりましたので、お家族お揃いでご覧下さい

一、題名
・劇物「大いなる旅路」
文化物「歩み出す若妻た
かいせつ 国鉄機関士と
その一家の、三十年にわた

に十六四歩のミカン園を經營している。こういう意態はどんく、広がり豊富な資金で九州へも進出しようとして居ります。

田代でも半径百秆の地域と考えるならば、温州でもボンカンでも幾らでも可能と思う。独りミカンばかりでなく鶏にしても一部落で一萬羽飼つて居る所もあり、三〇頭の共同酪農が二部落もあります。

各部落巡回日程	
月日	場所
7月4日	橋ノ口
5日	原沢
6日	池野
7日	瀬戸口
8日	東中郡
9日	柴立
10日	新田
11日	西大原
12日	平石
13日	馬場崎
14日	岩崎

日程	ス	タ	ツ	川	博
場所	製	作	ト	連	太郎
鶴岡公民館	=	=	キヤスト	章	子
原沢	岩	見	国	賀	廣
也	妻	浩	見	津	健
戸口	長	造	倉	光	雄
東中郡	次	夫	村	は	江
柴	三	夫	宮	辰	嘉
新立田	男	孝	藤	万	恵
平原	佐	咲	根	智	夫
馬堺	妻	久間	宮	代	子
崎	長	男	樹		
	芳	義	江		